

# 宇治市魅力発信行動指針

---

(最終案)

平成 27 年 1 月

宇 治 市

# 1. 魅力発信の基本的な考え方

## ➤ 行動指針策定の背景

～ 将来にわたって、活力とにぎわいのあるまちであり続けるために ～

本市の人口は、既にピークを越え、宇治市第5次総合計画の将来人口推計によると、今後、減少していく見込みです。人口が減少すると、地域コミュニティの維持が難しくなるとともに、まちの活力が低下する恐れがあります。また、公共サービスの水準を維持することも容易ではありません。

特に、地方では若年層の都市部への流出が人口減少を加速させる要因となっていますが、本市も、近年、転出人口が転入人口を超過する傾向があり、人口流出の抑制は解決すべき大きな課題といえます。

### 本市も例外ではない人口減少問題

**人口減少**  
このまま推移すると、2030年までに1.5万人(7.8%)減少します。

**少子高齢化**  
このまま推移すると2030年に高齢者数が5.4万人、人口の30%まで上昇します。

**人口流出(社会動態)**  
直近5年で1,405人が他市へと流出しています。

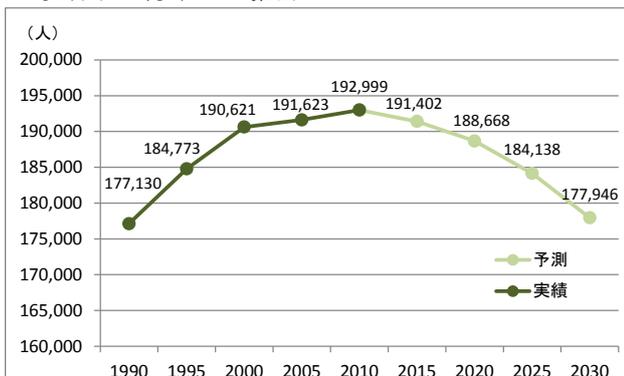
### 市民の暮らしにも影響する恐れ

**地域コミュニティの衰退**  
町内会・自治会など地域活動を支える団体の活動が衰退するおそれがあります。

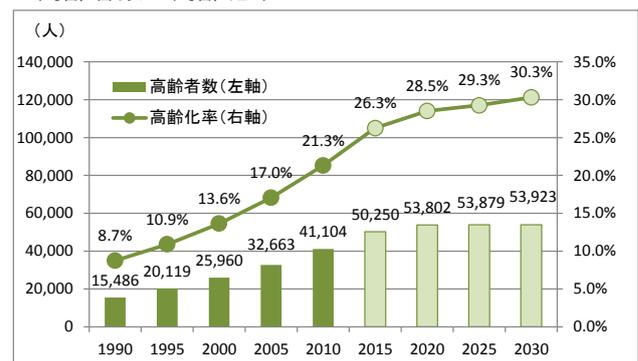
**まちの活力の低下**  
児童数の減少や、商業活動の衰退など、まちの活力が損なわれます。

**公共サービスの水準の低下**  
税収入の減少により、サービス水準の維持も容易ではなくなります。

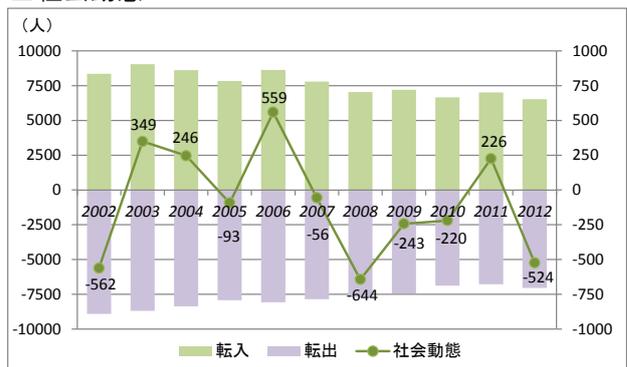
□宇治市の将来人口推計



□高齢者数・高齢化率



□社会動態

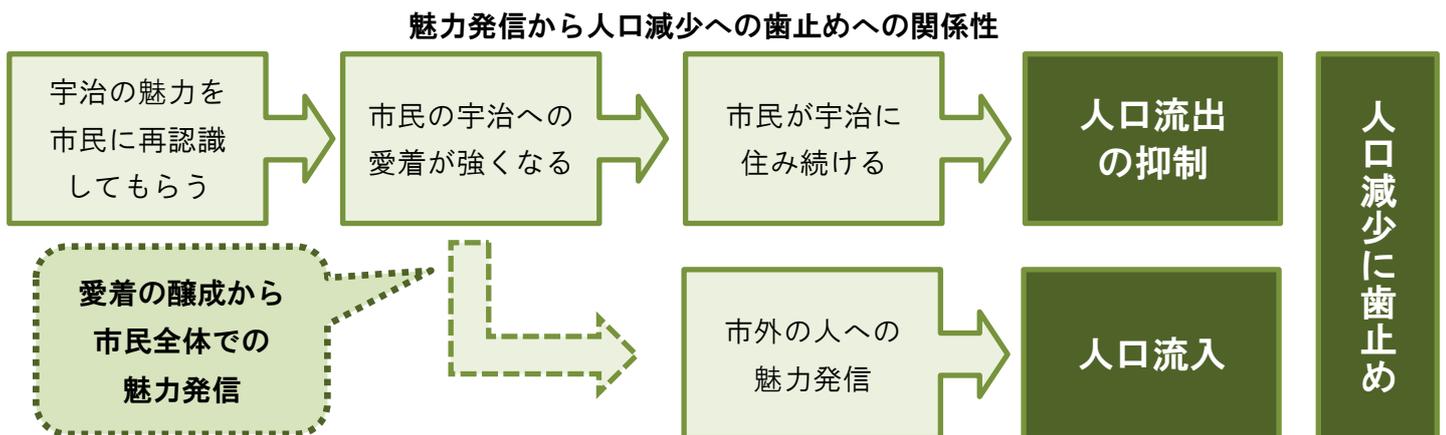


※社会動態とは転入・転出に伴う人口の動き。  
なお、出生・死亡による人口の動きは自然動態という。

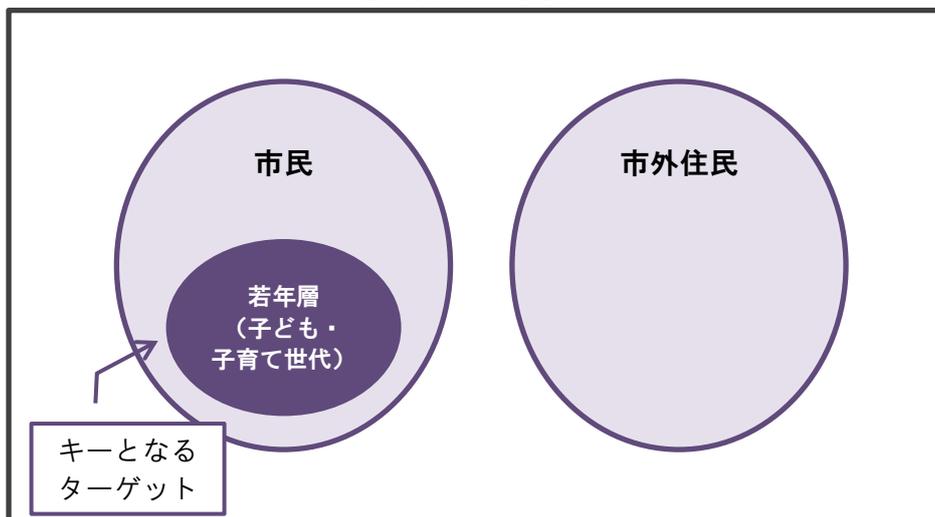
## ➤ 魅力発信の意義・目的

### ～ 魅力発信により市民の宇治への愛着を育み、人口の流出を抑制する～

- 人口減少に歯止めをかけるため、人口流出の抑制を目指します。そのためには、市民が宇治の魅力に再認識し、宇治への愛着をより強くしていくことが必要です。宇治への愛着が、宇治に住み続けようという意識を高めます。
- 市民参加による魅力発信は、その中心となる手段です。市民が相互に魅力を発信し、周囲の人を巻き込んでいきます。例えば、長年、宇治に住み宇治の魅力を良く知る中高年層が、子どもたちや新たに宇治に住むこととなった子育て層に魅力を発信し、愛着を醸成します。
- 愛着の醸成から、市民全体で市外へ魅力を発信する行動への転換を促し、市外の人にも宇治に住んでもらうこと（人口流入）を目指します。



### 魅力発信の対象者



## 2. 宇治市の魅力

### ➤ 伝えたい宇治の暮らしの魅力

本市は、歴史資源や文化資源、自然資源など、多岐に渡る魅力を有するまちです。民間シンクタンクの都市のブランド力の調査では、本市は全国1,000自治体の中でも上位に位置し※1、全国でも有数のブランド力があるまちです。

この強みを活かしながら、「宇治に住みたい」「宇治をもっと訪れたい」という気持ちにつながる工夫が、魅力発信の主な活動となると考えられます。

※1：株式会社ブランド総合研究所「地域ブランド調査」。2014年実施の調査では地域が魅力的かを示す設問で38位。

### ～京都や大阪に近接しながら、身近に自然と触れ合うことのできる暮らしの魅力～

646年に宇治橋が架けられ、古代から交通の要衝として発展してきました。

現在、本市には4本の鉄道が走り、京都まで約20分、大阪まで約50分と交通利便性の高いまちです。

一方、平安貴族も遊覧した宇治川をとりまく山々など、緑あふれる地域です。

宇治川を中心とした市街地に隣接する歴史的景観が国の重要文化的景観に選定されています。



### ～お年寄りや子どもが安心して暮らすことのできる魅力～

本市は、社会福祉サービスの充実した誰もが安心して暮らせるまちです。例えば、高齢者の介護のサポートでは、医療・介護・予防・生活支援・住まいに加え、社会参画・生きがいを含めた支援・取組が一体的に提供される宇治方式の地域包括ケアシステムを推進しています。

また、子育て支援としては、保育環境を整備し、4月時点の国定義後の待機児童数が0人となっているほか、地域の子育て支援拠点が充実しています。



## ～現在も歴史文化が日常生活に息づく、暮らしの奥深さに関する魅力～

本市には、世界遺産に登録された宇治上神社や平等院など、史跡が数多く残るとともに、源氏物語の舞台ともなるなど、歴史文化のあふれるまちです。

また、宇治茶は本市の象徴であり、全国に誇る銘茶の代名詞です。現代においても生活にお茶文化が根付いているほか、土地に伝わる県まつりや宇治田楽など、豊かな日本文化に触れることのできるまちです。

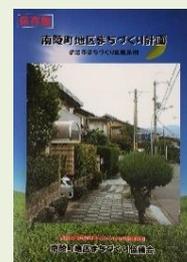


## ～互いに支え合う地域コミュニティの魅力～

コミュニティセンターや集会所など、町内会・自治会活動をはじめ、サークル活動や福祉活動などが行える場がたくさんあります。

学区福祉委員会やNPO法人など、地域で活動する団体もたくさんあります。

また、市民自らが、地域のまちづくりに主体的に関わる地区まちづくり協議会が6つ認定され、活発に活動をされています。



## ～多くの人との触れあいやにぎわいなど、暮らしに彩りを与える魅力～

本市はにぎわいに恵まれたまちです。数多くのイベントで人を集める商店街もあり、年末年始には寺社にたくさんの参拝客等が訪れます。

また、市民が季節ごとに家族や友人と連れ立って遊ぶことができるまつりやイベントが多いことは、宇治の大きな魅力です。

こうした毎年のイベントや祭りの準備を通じて、それぞれの地域での人のつながりを深めていることも見逃すことができません。



## ➤ 私たちも創造・発信してます！ 宇治の魅力

### 宇治商工会議所（チャチャ王国のおうじちゃま）

地域を基盤として、商工業の発展、振興に力を注ぎ、国民経済の健全な発展に寄与するための、「公共性、地域性、総合性、国際性」を4つの柱に活動する地域総合経済団体です。

“チャチャ王国のおうじちゃま”は、宇治市のPR、宇治市産品のPR、地域振興・活性化を目的に活動しています。

ゆるキャラグランプリ2014で約1700体の中から5位に選ばれました。おうじちゃまの知名度、人気の向上が、若い世代の方々を中心に、宇治市や宇治茶への知名度、愛着の向上に結びつくよう取り組んでいます。



### 公益社団法人宇治市観光協会

「宇治川さくらまつり」「宇治川の鵜飼」「源氏物語宇治十帖スタンプラリー」などの市民や観光客に楽しんでもらえるイベント開催などを通じて宇治市を盛り上げています。

市民や観光客の憩いの場を守り、次世代の育成や地域の文化と経済の向上発展に寄与できるよう、国内外からの観光客の誘致・観光客受入体制の整備・組織の充実などに取り組んでいます。

また、宇治観光ボランティアガイドクラブは、国内外の観光客の方々に、宇治の豊かな魅力をより深く知っていただくために、ガイドブックだけでは得ることのできない風景やエピソードなどを紹介するなど、旅のエスコートをしています。宇治にお越しの際は、ぜひお声掛けください。



### 京都文教大学（京都文教大学地域学生連携プロジェクト）

平成26年度文部科学省「地（知）拠点整備事業（大学COO事業）」に本学の「京都府南部地域ともいき（共生）キャンパスで育てる地域人材」が採択されました。大学と地域が共に生かしあい、ともに生き生きするよう、授業や地域の方々（住民・企業・行政・NPOなど）との共同研究、宇治市高齢者アカデミー、京都府南部地域まちづくりミーティングなどを通じて、地域に貢献できる人材を育成していきます。

また、本学では学生が地域交流や社会貢献活動などの地域連携学生プロジェクトに主体的に取り組んでいます。「宇治☆茶レンジャー」は、学生が感じた宇治茶の魅力を広く地域に発信するプロジェクトです。毎年秋に、宇治茶をテーマにしたスタンプラリー等のイベントを企画するほか、観光客への宇治茶接待など、地域と協働した取り組みを行っています。



## 宇治市茶生産組合青年部

市内産の宇治茶は、ほんすや寒冷紗による覆下栽培や手摘み、宇治茶の伝統的な茶製法である手もみなどにより、他にはない良質のものを提供しています。

市内産の宇治茶の良さをより多くの方に知ってもらえるよう、極上抹茶の生産や市内・国内外のイベント等で抹茶をふるまうなど、PRに取り組んでいます。



## 京都府茶協同組合（宇治茶レディ）

京都府茶協同組合は、京都府内で製茶業、茶卸売業及び茶小売業を営む事業者で構成し、京都府茶業の復興に寄与することを目的に活動しています。

宇治茶をPRする活動の一環として、宇治茶レディと称して、毎年、宇治茶が大好きな女性を公募し選考しています。2014年度は、5代目で4人の宇治茶レディが年間20件を超えるイベントやPR事業に参加し、宇治茶のおいしさを多くの人に伝える活動を実施しています。



## 一般社団法人宇治青年会議所

青年会議所は、青年の真摯な情熱を結集し社会貢献することを目的に組織された青年のための団体です。よりよい社会づくりをめざし、明るい地域の創造に向け市民意識の変革や行政改革等の社会的課題に積極的に取り組んでいます。

いつの時代も、未来を担うのは子どもたちです。その子どもたちに、夢や希望が持てる明るいまちを作り、健全な青少年を育成していくのは我々大人の努めであると考えて小学生による川柳大会や、地域の皆様に参加いただく新春茶会（初釜）を実施しています。



## 市内高等学校

宇治の魅力を市内外に発信することを目的に開催した「高校生グループ対抗 宇治のPR動画コンテスト」には、4つの高等学校（京都芸術高等学校、京都翔英高等学校、京都府立城南菱創高等学校、立命館宇治高等学校）の高校生グループから応募がありました。

### 城南菱創高校英語ゼミ6組チーム（最優秀賞受賞グループ）

英語ゼミの活動の一環として、宇治の魅力を英語で発信しようと応募しました。

自分たちの住んでいる宇治市のことを、改めて見直すことができました。

他のグループの作品も、私たちの知らないことが紹介されていて、おもしろかったです。



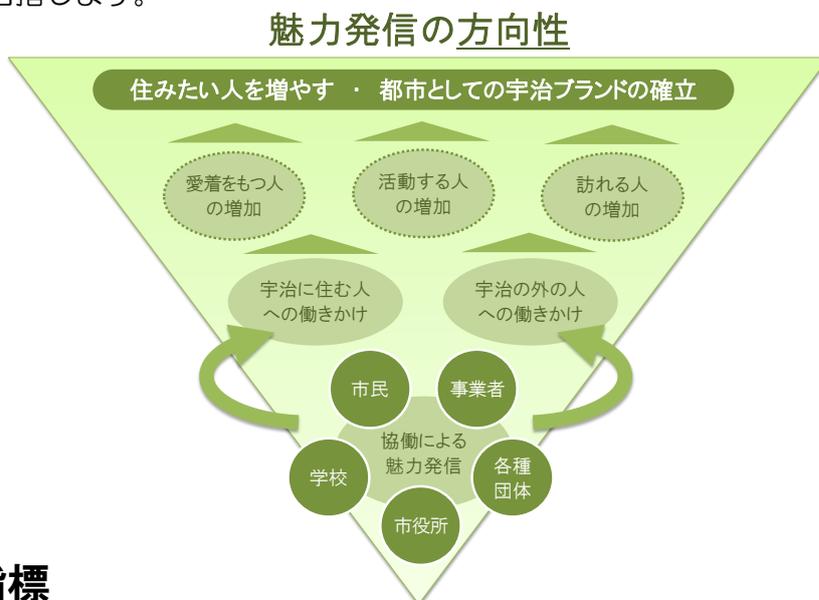
### 3. 魅力発信の目指す効果

#### ➤ 魅力発信の方向性

～市民参加による宇治市の魅力の再認識・創造・発信を通じて、  
確固たる宇治ブランドを確立し、選ばれるまちとなって持続的発展を目指す～

魅力発信をきっかけとして、市民が宇治の魅力を再認識し、これからも宇治に住み続けたいと実感できるようにするとともに、都市としての宇治ブランドを確立することにより、市外の人にも住みたいまちと感じてもらいたいことを目指します。

また、魅力発信の効果を高めるため、取組は市役所だけでなく宇治の魅力を良く知っている市民、事業者、学校などが協働で行います。魅力発信の取組の浸透が、まちに愛着を持って活動を行う人口・人材を増やし、人が生き生きと活動を行えるまちとなり持続的な発展につながることを目指します。



#### ➤ 目標と指標

魅力発信の取組による目標と客観的な指標を次のとおり設定します。目標達成に向けて、それぞれの指標を向上させることを目指して、取り組みます。

	目 標	指 標
最終目標	『宇治に暮らしたいと思う人』を増やす	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会動態</li> <li>● 市民の定住意向（アンケート）</li> </ul>
中間目標	『宇治に愛着を持つ市民』を増やす	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民の愛着度（アンケート）</li> <li>● イベントや祭りなどの参加者数</li> </ul>
	『宇治の魅力向上に寄与する活動を行う人』を増やす	<ul style="list-style-type: none"> <li>● （仮）宇治魅力発信プラットフォーム参画者数</li> </ul>
	『宇治を訪れる人』を増やす	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光客のリピーター率</li> <li>● 京都観光客の宇治への訪問率</li> <li>● 地域ブランド調査（全国調査）</li> </ul>

## 4. 行動指針

### ➤ 魅力発信の主体等

魅力発信を進めるためには、市役所はもちろんのこと、市民、事業者、NPOなどの団体、学校をはじめとする宇治に関わる全ての人々の協力が必要です。

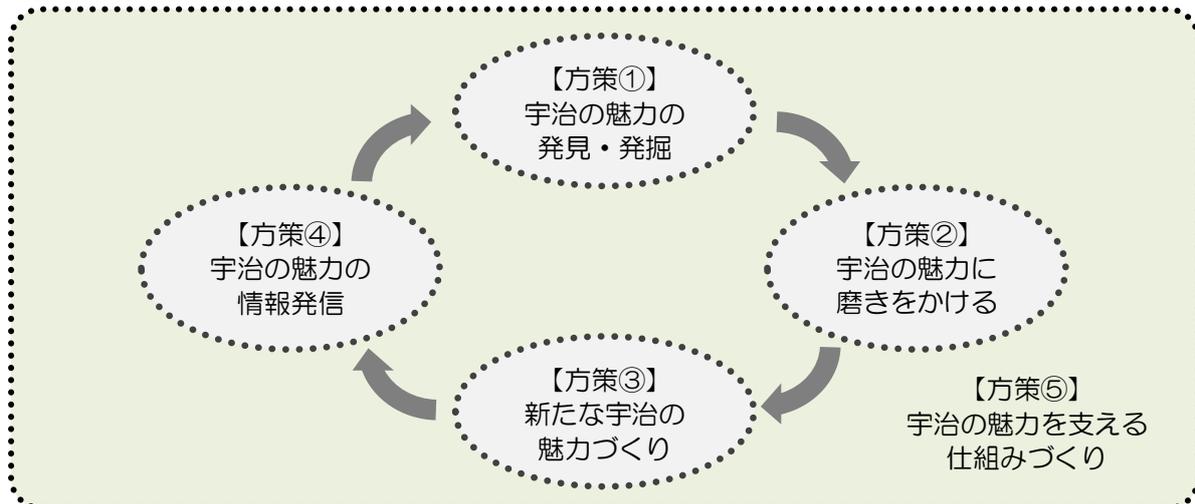
それぞれの主体が個々に活動を進めるとともに、お互いに協力することでさらなる効果を発揮することを目指します。



主体	主な魅力発信行動内容
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全国の誰よりも宇治の魅力を知り、自ら楽しみ、発信する。</li> <li>● 宇治の魅力に関わる活動に関心を持ち、交流の場に参加する。</li> </ul>
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 企業が知る宇治の魅力を、顧客だけでなく市民にも発信する。</li> <li>● 魅力発信活動に、市民等と協働で取り組む。</li> </ul>
市役所	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 魅力発信の主体をつなぐ場を構築する。</li> <li>● 市民への啓発や事業者・各種団体が行う取組を支援するとともに、魅力発信の主体の一つとして市民等と協働で取り組む。</li> </ul>
各種団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>● イベント等を通じ、市民が宇治の魅力を楽しむ場を提供する。</li> <li>● 市民が宇治の魅力を知ることができる機会を提供する。</li> </ul>
学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 宇治の自然・歴史・文化・産業などを教材として活用する。</li> <li>● 児童・生徒・学生が宇治の魅力を知れる機会を増やす。</li> </ul>

### ➤ 主要な方策

魅力発信の取組が、持続的な活動につながるよう、5つの方策を進めていきます。



## 方策① 宇治の魅力の発見・発掘

宇治の魅力について、多くの市民が実感できるように、魅力の発見・発掘に向けた取組と、その魅力を次世代に引き継いでいくための取組を展開します。

### 〔取組例〕

- ・ まちの魅力の発見に向けたまち歩き
- ・ 子どもの目線で見たまちの魅力の募集
- ・ 市民からの宇治の魅力の募集
- ・ まちの歴史文化に関する市民講座の開催
- ・ 市民向け宇治の魅力体験講座等の開催
- ・ 茶摘み体験など地域の伝統産業の体験イベント 等



## 方策② 宇治の魅力に磨きをかける

歴史的なまちなみの保全や、豊かな自然環境を活かしたまちづくりなど、宇治の魅力に、さらに磨きをかける取組を展開します。

### 〔取組例〕

- ・ 地域のまちなみ保全・景観形成
- ・ 市内産宇治茶のブランド化
- ・ 魅力的なお土産・食事の開発
- ・ 宇治茶を使ったスイーツコンテスト  
の実施や新しい名物の開発
- ・ 源氏物語などの地域ゆかりの物語を活かしたイベントやまちづくり 等



## 方策③ 新たな宇治の魅力づくり

地域の大学や事業者との連携や、市内で新たな暮らしを展開する人たちとの協働により、これまでにない新たなまちの魅力を生み出すための取組を展開します。

### 〔取組例〕

- ・ まちの歴史性や自然資源を活かした新たなイベントやまちづくり
- ・ 大学や事業者との協働によるイベントやまちづくり
- ・ 大学生などの若者によるイベントやまちづくり
- ・ 事業者による宇治ブランドを活かした新商品・事業開発 等



## 方策④ 宇治の魅力の情報発信

より多くの人に宇治の魅力を知ってもらい、触れてもらうため、あらゆる情報発信に向けた取組を展開します。

### 〔取組例〕

- ・ ホームページやSNS、動画など、時代に  
応じたICT技術を活用した情報発信
- ・ ふるさと納税のお礼の品に市内特産品等を  
追加し、宇治の魅力をPR
- ・ ちはや姫等ゆるキャラの活用
- ・ 高校生をはじめ様々な世代の視点を活かし  
た情報発信
- ・ コミュニティペーパーなどによる情報発信
- ・ まちのお店紹介などのマップの作成・配布
- ・ 事業者等とのタイアップによる宇治ブランド  
広報・PR
- ・ 大学生や外国人旅行者などターゲット・  
ニーズに応じた情報発信 等



## 方策⑤ 宇治の魅力を支える仕組みづくり

宇治の魅力は、多くの市民やNPOの団体等の活動によって支えられています。今後、さらに宇治の魅力を高めていくために、魅力を支える人や団体が協働できる仕組みづくりを展開します。

### 〔取組例〕

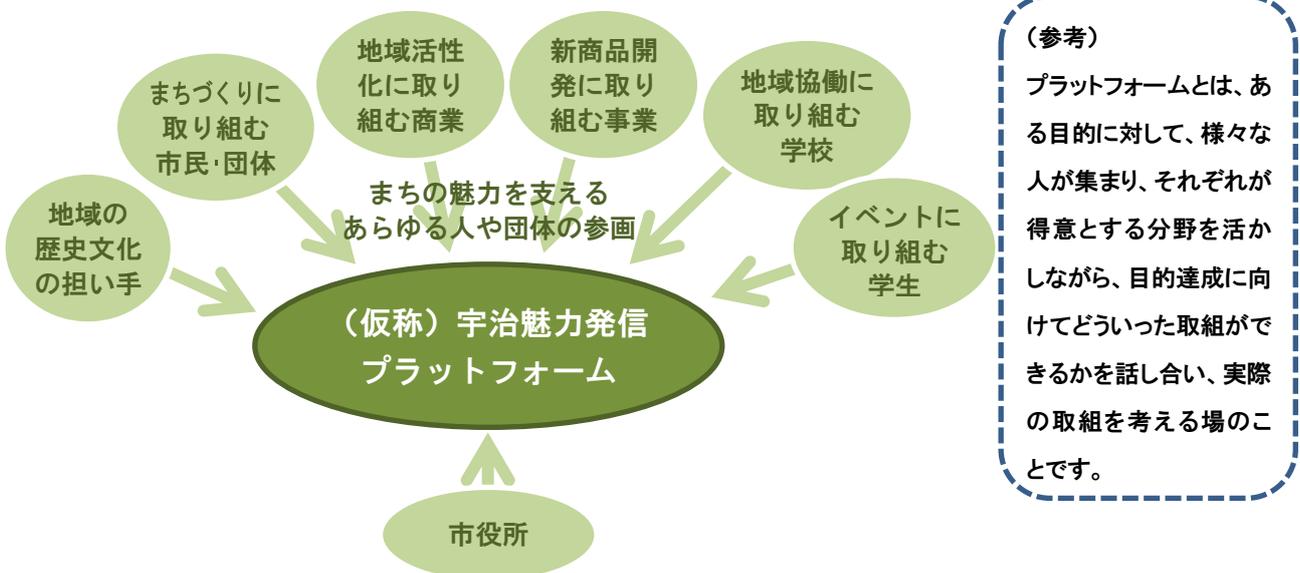
- ・ まちの魅力を支える人や団体の協働の取組に向けた仕組みづくり

## 5. 魅力発信の取組実行にかかる仕組み

### ➤ まちの魅力発信を担う人々や団体が集い、お互いに協力して活動を進めるためのプラットフォームを立ち上げます

まちの魅力は、地域のまちづくりに取り組んでいる市民やNPOなどの団体、まちの歴史文化を受け継ぎ支えている人や、地域の活性化の担い手となっている事業者の方々、さらには市内に立地する学校などに支えられています。

このようなまちの魅力を支えている人や団体が、お互いに情報交換を行うとともに、協働して取組を進め、より魅力的な宇治を築いていくためのプラットフォームを立ち上げます。



#### プラットフォームの役割と活動

- 宇治の魅力づくり、魅力発信に携わる、あらゆる人や団体が集う場とします。
- 参加する人や団体の活動に関する情報交換と連携協力に向けた協議の場とします。
- 参加者同士の協力・意見交換により、魅力発信の相乗効果を高めます。
- 参加者による魅力発信に関する新たな協働プロジェクトを立ち上げます。

#### 市役所の役割

市役所は、プラットフォームを立ち上げるとともに、参加者の自由な議論・発想で魅力発信という目的に対して、それぞれの得意分野を活かしながら協働によるオール宇治で取り組めるよう、プラットフォームに対し、以下の運営支援を行います。

- 各魅力発信主体（市民・事業者・各種団体・学校）等への参加促進をします。
- 地域と行政をつなぐコーディネーターを設置します。
- 協働プロジェクトへの財政支援をします。
- 市窓口の一本化





ちはや姫